

3分で読めて、売上げアップとビジネスに役立つ
アイデアとヒントとノウハウが満載！！
仕事と論語と蕎麦打ちが大好きな月本康寅がお届けする

たんぽぽ通信

営業先でトークがはずむと評判のビジネスレターです。
月本建設(株) 月本康寅 電話 086-275-0676

2016年4月号

■今月の仕事に役立つビジネスジョーク

『もし、宝くじが当たったら？』

「先生、主人が買った宝くじ、三億円が当たったんです！
でも、このことを心臓の弱い主人に知らせて大丈夫でしょうか？」
「いや、いきなり知らせるのは危険です。私が少しずつ伝えましょう。」
「ご主人、もし宝くじで100万円が当たったらどうしますか？」
「そうですね、先生たちと一緒に温泉旅行にでも行きましょうか。」
「では、ご主人、もし1000万円が当たったらどうします？」
「先生が欲しいと言っていたセカンドカーをプレゼントしますよ！」
「えっ！それは嬉しいですな。じゃあ、もし三億円が当たったら？」
「そうですね・・・私と妻と先生で一億円ずつ山分けしましょう。」



■今月の論語

『子曰く、詩に興り、礼に立ち、楽に成る。』

孔子が言うには、詩を学んで言葉を豊かにし、人を尊ぶ礼を身につけ、音楽で和楽の心を養う。
このような積み重ねで心豊かな人になれる。



お気に入りのことば
正直に生きる。
そして感謝報恩に。

4つの資格のプロです。1級建築士・1級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士・宅地建物取引士

月本建設株式会社 代表取締役 月本康寅（愛称 つきちゃん）
年齢：53歳 血液型：A型 星座：みずがめ座
生年月日：昭和38年1月22日 出身地：岡山県岡山市
現住所：岡山市中区四御神 通勤：鮎モドキがいる川沿いに車で！
好きな言葉：素直、和、元気！ 好きな映画：小さな恋のメロディ



趣味：蕎麦打ち、映画鑑賞、ゴルフ、カラオケ 家族：妻と長男（社会人でうどん県へ移住）・
長女（専門学校生でたこ焼き県へ移住）・次女（小学生）と犬（ジャック）とハムスター（メロ）
プロフィール：岡山工業高校、九州産業大学建築学部を卒業後、(株)荒木組で現場監督の勉強を
させてもらい、3年半後に月本建設(株)に入社、一級建築士を取得して現在に至る。
FBで「月本康寅」を検索すると人間像が少しわかるかな！

■集客・営業・広告・販促に役立つ心理マーケティング

■『無料戦略』

写真はある呉服店店頭で見つけたものです。

「10大サービス」と書かれていますが、「晴れ着購入者にはこの10項目の特典の全てが無料」ということです。

「無料」を使った広告、販促というとバカにしてやらない人が多いのですが、私自身は下記のように今までに何度も活用して効果を上げています。



私がパソコン教室を運営していた時に最も集客力があつたのは「**4日間無料講習会**」です。私が出版をするきっかけになったのも「**無料レポート**」です。私がセミナーDVDを販売するきっかけになったのも「**無料セミナー**」です。私が日本全国で講演をするきっかけとなったのは「**無料の書籍配布**」です。

また、世界的なクッキー・チェーンのミセスフィールズクッキー社の躍進のきっかけは「**クッキーの無料試食**」です。関西に本社を置く全国規模の学習塾のオーナー（女性）が以前にご主人が経営していた家電販売店を手伝っていた頃、大きく売上を伸ばしたのは「**無料モニター募集**」がきっかけです。

およそ100年前に書かれた広告の名著サイエンティフィック・アドバタイジングで紹介されている高価なミシンを販売するために効果的だった販促方法もやはり「**無料モニター募集**」です。現在でも再春館製薬所、やずや、ユーキャン・・・見込み客集めのキーワードは「**無料**」です。

「無料でお客を集めると冷やかしか客が多い」

「無料イベントを開催しても売上につながらない」

「無料でプレゼントを渡して“もらい屋さん”しか来ない」

・・・という方が多いのですが、それは「無料」に効果がないのではなく、「無料」の使い方、そして「無料」で集めた見込み客へのその後のアプローチが戦略的に構築されていないだけです。

無料戦略をマスターする一番効果的な方法は実際に「無料」で集客している会場に足を運び、「無料資料」を配布している企業に資料請求をして、どのようなセールスの仕組みが構築されているのかを**自分の目で確かめること**です。すると無料からどのようにして成約に結び付けているのかがよく分かります。

それを自社に応用すればオリジナルの無料戦略が構築できます。

●本記事は契約のうえ、ビジネス心理学講師・酒井とし夫さんが寄稿しています。

今月の強運 ランキング ベスト3

- 1位 八白土星 細い絆が太くなるが、浅いご縁が深くなる暗示あり。所信を貫く努力も必要な福得運。新鮮な気持ちで物事に全力投球を。吉方位は東・西・南西方位です。
- 2位 一白水星 案ずるより産むが易し、という言葉通り自分の立場に誇りを持って活動しましょう。事前に対策を立てておくと万事楽になります。吉方位は東・南西・東北方位です。
- 3位 七赤金星 棚ボタ思考の努力不足ではいけません。過去の実績が評価されたり実ったりと嬉しい知らせがありそうです。吉方位は東南・南西・北北西方位です。

連絡先

リフォームを「頼んで良かった」と言われる会社です。

月本建設（株）代表取締役 月本康寅

電話/086-275-0676 FAX/086-275-5267

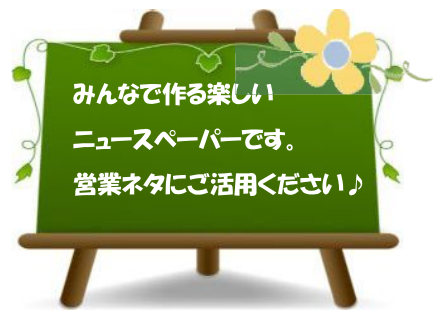
メール tsukimoto-cop@wind.ocn.ne.jp

ホームページ

月本建設

検索

コラムでコラボ



みんなで作る楽しい！
ニューズペーパーです。
営業ネタにご活用ください♪

H.28 4月号(1) 発行:一級建築士 月本康寅

自分でできるメディカルチェック

経絡とストレッチの関係

東洋医学に伝わる働きを知り、子供の頃のような元気あふれる、本来の自分を取り戻しましょう。

◆「木」肝・胆経

「木」の働きは、のびやかに成長・発展するエネルギーで、からだ(肉体)＝肝機能、解毒機能、こころ(感情)＝怒り、イライラで、肝機能＝怒りは つながっているため、肝臓が弱るとイライラしやすくなります。

◆「木」のエネルギーが低下すると・・・

爪に横線が入り、足のスジなどつりやすくなり、感情が爆発して大声をあげたくなります。

◆「木」のエネルギーを高める【肝・胆絡ストレッチ】

足を広げ、からだを横に倒しましょう。

◆そのことにより、心身に良い変化が訪れます

からだ(肉体)＝肝機能、解毒機能の向上、こころ(感情)＝怒りは行動の原動力に。積極的に新しい物事に挑戦していく。

◆「火」心・小腸経、心包・三焦経

「火」の働きは、華やかに繁栄・成熟するエネルギー。からだ(肉体)＝血液循環、免疫力、こころ(感情)＝喜び、血液循環と＝喜びと つながっているため、血液循環が滞ると、喜びを感じにくくなります。

そして「火」のエネルギーが低下すると、精神的不安におちいりやすく、ヒステリーになりやすくなります。

◆「火」のエネルギーを高める【心・小腸経絡のストレッチ】

足の裏を合わせ、からだを前に倒しましょう。

防犯カメラについて

防犯カメラの映像は綺麗ではないと思われている方も多いかと思いますが、最近ではハイビジョン防犯カメラが主流になりつつあります。以前のものと比較すると5倍映像が綺麗になっています。お札の種類・ペットの様子・商品の字も綺麗に映すことが出来、様々な使い方ができています。スマートフォン・PCでの遠隔監視も出来るので皆さん一人一人の使い方があるようです。

安心して生活できるお手伝いをさせていただきます。

TEL : 0120-46-9406

株式会社シールド

専務取締役 本多高明



「自律神経の話」

自律神経は、私たちの体の中にある神経のひとつで、内臓や血管、分泌腺などをコントロールし、心臓の働き、血圧や体温の調節、食べ物の消化など、私たちが生きていく上で欠かせない体の働きを維持しています。

この自律神経は、私たちの意思とは関係ないところで働いており、自分で意識的にコントロールすることはできません。

例えば、内臓や血管を自由に動かすことはできませんし、呼吸や消化などの活動は全て無意識のうちに行われていますよね。

自律神経には、日中や活動時に働く「交感神経」と、夜間や休息時に働く「副交感神経」があり、これら2つの神経が必要に応じてスイッチのように切り替わることでバランスが保たれ、体内の環境を整えてくれています。

しかし、不規則な生活や過度のストレス状態が続いてしまうと、スイッチがうまく切り替わらなくなり、自律神経のバランスが乱れ、体に不調をきたしやすくなってしまいます。

■ほぐゆる庵～relax&conditioning ■

「移動巡回型施術院 ほぐゆる庵は出張専門の整体院です。痛みの原因から解決します！！」一度ご相談ください。

TEL : 080-6337-3315

オフィス ニコスコ 高野よしくに



経験から生まれた言葉を残した哲学者としての孔子

言葉では語り尽くせないものがある

■天何をか言うや、四時行われ百物生ず (陽貨篇)

『論語』は「言ったことは必ずやりましょう」「約束を守れないことは恥ずべきことです」というように、人間の言葉や行為のあり方が全体の大きなテーマとなっています。

孔子も弟子たちに対して言葉で述べ伝えていくわけですが、この章句はこの世界には言葉では当たり尽くせないものはたくさんあるということを教え諭す貴重な一文です。

いまの時折、この章句を思い起こし、凜とした気持ちになります。



■「楽しい論語塾」より抜粋